

ADC/ロードバランサーサービスを最小の費用で実現可能にする  
新世代のサブスクリプション  
Kemp Technologies 社製「SPLA™」(サービスプロバイダー向けライセンス)を発売開始

FXC 株式会社(本社:東京都台東区浅草橋3丁目20番15号 代表取締役社長:谷輪 重之)は、ロードバランサー(負荷分散装置)の進化系であるADCの世界的ベンダーであるKemp Technologies(本社:米国・ニューヨーク CEO Ray Downes)が提供する、通信帯域ベースのライセンス「SPLA™」(\*)を、2020年11月30日(月)より販売開始いたします。

(\*)1) Services Provider License Agreement

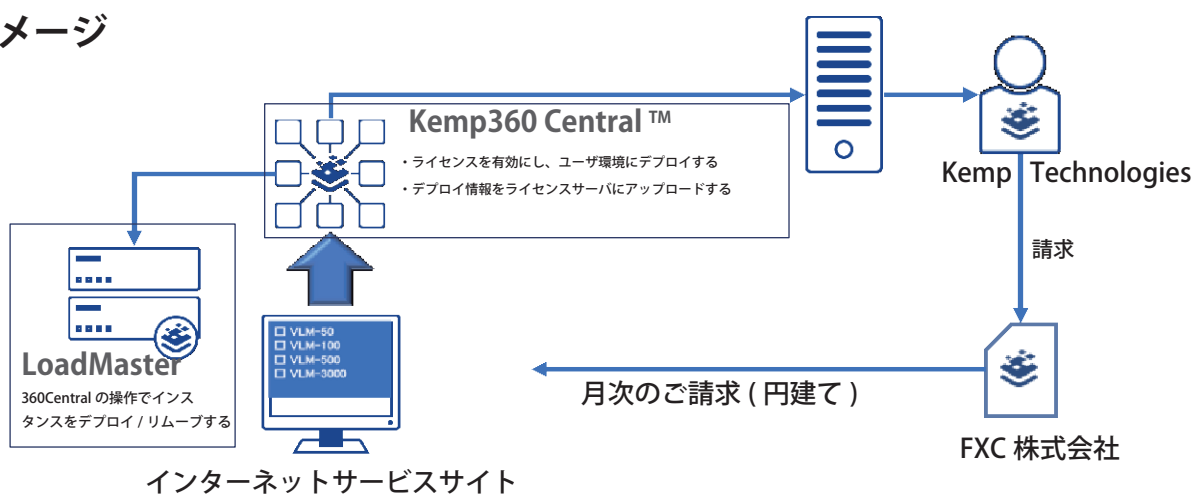
<第三者へサービス提供可能なADCライセンスSPLAの特長>

SPLA(サービス・プロバイダー・ライセンス契約)は、サービスプロバイダー向けに提供するライセンスモデルです。これにより第三者へのADC/ロードバランサーサービス提供が可能となります。

インターネットを使ったサービスやテレワークの増加で、サーバとアプリケーションの安定した稼働は一層重要になり、ADCやロードバランサーの必要性が高まっています。その一方でサービスプロバイダーにとって、ADC/ロードバランサーでのサービス提供には、高価な機器の導入や高額な月次費用が必要となり、コスト面で大きな障害となっています。

SPLAは仮想ロードバランサー(バーチャルLoadMaster)の1ユニット単位で料金を設定しており、月次で使用したユニット数に対して使用料が発生するサブスクリプションモデルです。これにより、ユーザへのサービス価格とコストは常に正比例しており、余分な設備投資やライセンス購入の必要はありません。サービスプロバイダーにとって、SPLAはサービス提供するために、もっともリスクが少なくCapExを必要としない手段といえるでしょう。

動作イメージ



Kemp360 Central

お客様のサービスサイトにデプロイし、LoadMasterのデプロイとリムーブ、ライセンスの管理を行います。デプロイしたLoadMasterインスタンスの数は自動でKempのライセンスサーバにアップロードします。

SPLA の契約で利用できる ADC モデルは、Kemp の主力モデルである仮想版 LoadMaster (VLM シリーズ) のすべての機能になります。また、LoadMaster シリーズは、サポート サブスクリプションの契約により、エッジ認証機能 (ESP)、GSLB<sup>(\*1)</sup> 機能、WAF<sup>(\*2)</sup> 機能の利用が限定されますが、SPLA の契約ではすべての機能の利用が可能であり、より充実した ADC / ロードバランサーのサービスを提供することが可能になります。

なお、SPLA での利用可能モデルには、サービスプロバイダーのメニューに幅広く対応するために帯域別に以下の 4 種類の帯域モデルと GSLB に特化したモデルを用意しています。

(\*1) Global Server Load Balancing (\*2) Web Application Firewall

## プロダクト型番と概要

プロダクト型番	最大帯域	SSL TPS (2K キー)	ESP	WAF	GSLB	サポート
VLM-50-SPLA	50Mbps	50	✓	✓	✓	24 時間/ 365 日 *3
VLM-100-SPLA	100Mbps	100	✓	✓	✓	24 時間/ 365 日 *3
VLM-500-SPLA	500Mbps	500	✓	✓	✓	24 時間/ 365 日 *3
VLM-3000-SPLA	3Gbps	4,000	✓	✓	✓	24 時間/ 365 日 *3
VLM-GEO-SPLA	—	—	—	—	✓	24 時間/ 365 日 *3

\*3 休日、夜間は英語での対応になります。

【受注開始日】 2020年12月

【出荷開始日】 2020年12月

### <代表のコメント>

本製品の発売開始にあたって、FXC株式会社 代表取締役 谷輪重之は以下のコメントを発表しました。「今回発売を開始するインターネットサービス事業者向けのサブスクリプション製品 SPLA (サービス・プロバイダー・ライセンス契約)は、安価な提供が難しかった負荷分散やADCサービスをリーズナブルな価格で提供可能にする画期的なライセンスモデルです。サービスプロバイダーは競合の激しいホスティングサービスに対して、可用性の強化や輻輳するトラフィックの軽減などの付加価値サービスを、高額なADCの初期投資をせずに、タイムリーにサービスを開始することができます。

Kemp Technologiesは時代の要請に基づきサブスクリプションによるCAPEXの削減、さらにはKemp 360 という自動化と監視を容易にするツールによりOPEXの低減にも寄与します。コロナ禍によるインターネット利用の増大でサーバ強化や負荷分散の要求が高まっています。このような環境の中、FXCはサービスプロバイダー事業者向けに新世代のサブスクリプション形式によるライセンス製品の提供を決断しました。

FXCはこれまでのビジネスに加えて、新たなサービスモデル提供し、コミュニケーションの多様化・高速化・容易化に貢献していきます。」

### <Kemp会社概要>

Kemp Technologies Inc.はロードバランサーソフトウェアを中心に開発するソフトウェアメーカーです。製造と営業の拠点は、ワールドワイド本社がニューヨークに、リムリック(アイルランド)にヨーロッパ本社、シンガポールにアジア本社があり、24時間体制で製造販売、サービスを提供しています。

2004年にLoadMaster™というブランドでロードバランサーを発売して以来、一貫してソフトウェア開発にフォーカスした製品開発を行っております。製品はハードウェア アプライアンスの他にソフトウェア アプライアンス、クラウド、ベアメタルを用意しており、近年、ソフトウェア製品の出荷数量を大きく延ばしています。

### <FXC会社概要>

FXC株式会社(本社:東京都台東区)は、総合ネットワーク機器メーカーとして、2001年1月に創業。以来、通信ネットワークのインフラストラクチャの整備・普及と、コミュニケーション手段の多様化・高速化・容易化に貢献することを理念とし、光ファイバ通信向けのWDMやメディアコンバータ、管理機能付イーサネットスイッチ、小型無線アクセスポイント等、先端技術を搭載した製品を提供しております。

Kemp社製品の販売は、2013年にKemp Technologiesより、日本国内における独占販売権を取得し販売を開始しました。現在、FXCはKempのロゴや商標を使用する権利を持っており、Kempブランドの日本国内への定着も目指しています。販売はFXC製品と同様の流通チャネルから行います。保守サポートについて、オンサイト保守は24時間のサービスをFXCが用意します。サポートはFXCとKempの窓口を併用してサービスいたします。

### 【お問い合わせ先】

FXC 株式会社：マーケティングチーム

Kemp プロジェクト：kempmarket@fxc.jp

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 3-20-15 浅草橋ミハマビル 7 階 TEL: 03-6820-0319 FAX: 03-5809-3258